市議会の動き

平成15年第２回定例会

平成15年度各会計補正予算などを可決

７月16日から８月６日までの期間に開かれた平成15年第２回定例会の概要をお知らせします。
また、７月７日から８月６日までの各委員会の活動状況についてもお知らせします。

編集●札幌市議会事務局☎211-3162
市議会ホームページアドレス●http://www.city.sapporo.jp/gikai/

可決された議案

○一般会計補正予算

札幌元気基金関連調査、中小企業金融対策資金貸付、市立大学基本計画策定などに必要な経費として、総額六百二十億二千百五十五万八千円を追加するものです。

○高速電車事業会計補正予算

福祉のまちづくり環境整備事業（地下鉄駅エレベーター設計）の受託工事費として、五千八百万円を追加するものです。

○下水道事業会計補正予算

下水管・処理場設備等の新設および老朽改築などに必要な経費として総額十三億一千六百万円を追加するものです。

○札幌市基金条例の一部を改正する条例案

札幌国際デザイン賞事業の廃止に伴い、その原資である札幌国際デザイン賞顕彰基金を廃止するものです。

○札幌市証明書等手数料条例の一部を改正する条例案

住民基本台帳ネットワークシステムの二次稼働の開始に伴い、新たに開始される住民基本台帳カードの交付事務にかかる手数料を定めるものなどです。

このほか、札幌市税条例の一部を改正する条例案など合計十五件が可決されました。また、人権擁護委員選任に関する件については、推薦することを適当と認めました。

可決された意見書案

○国から地方への税源移譲を基本とする「三位一体改革」の実現を求める意見書

○義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

○こども一人ひとりを大切にするゆとりある教育環境の実現を求める意見書

○季節労働者の「冬期雇用援護制度」の存続と雇用確保を求める意見書

○遺伝子組み換えイネと食品表示に関する意見書

市議会だよりの配布

今定例会の内容を詳しく紹介した「さっぽろ市議会だより」を九月十八日㈭に発行する予定です。市役所、区役所、連絡所、地下街ふれあい広場などで配布します。

代表質問から

今回の定例会では、七月二十三日から二十五日までの三日間の日程で行いました。その中から主なものをお知らせします。

札幌駅前地下歩行空間

横山光之（自民党）

問　今予算には五千万円の調査費ではなく、当初計画通り予備設計に必要な予算を計上し、平成二十一年の完成に向け、直ちにプロジェクトをスタートさせることを提案するが、所見を伺いたい。

答　当初は、今年度中に予備設計を実施する予定であった。しかし、現段階では整備に対する市民理解が、十分に得られていないと判断し、都心全体のまちづくりの中での位置付けや、地上部分の再整備など、市民の理解を深めていく必要があると考え、シンポジウムの開催経費など必要な予算を提案した。

今後、これらの議論の動向を見極め、事業化について判断したいと考えている。

住民基本台帳ネットワーク

川口谷　正（民主党・市民の会）

問　住基ネットは選択制にこだわらず、離脱も含め最良の対応を探すべきだ。政府に法改正を求めることも含め、全国の自治体と連携して解決を目指す必要もあると考えるが、いかがか。

答　横浜市の状況や長野県審議会と総務省との討論会の結果を踏まえ、各方面からの意見を参考にしながら、どのようなことができるのか検討を進めていきたい。これらの情報については、積極的に市民に知らせ、意見を伺いたい。法改正については、二次稼働の状況や、全国的な動向を把握し、検討していきたいと考えている。

路面電車の活用とＬＲＴの研究※

義卜雄一（公明党）

問　市長の公約で路面電車の活用を図るとしているが、具体的にどのような活用を図るのか。また、ＬＲＴの研究についても今後どのように進めていくのか伺いたい。

答　路面電車事業は厳しい経営状況にある一方、アンケート調査の結果からも市民の多くがその存続を望んでいる。これらのことを念頭に置き、今後、交通事業経営改革会議の検討を踏まえて、今年度末までに事業の方向性について結論付けたい。

また、ＬＲＴの研究については、諸外国の導入例を見て